

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来 成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/02	40774	伊藤ライフサイ エンス株式会社	日局トロンピン	トロンボプラスチン	ブタ肺	デンマーク	製造工程	有り	無し	無し	ウエストナイルウ イルス感染	ProMED, 20040520-0060 (Pork Magazine, 2004/05/18)	若いブタはウエストナイルウイルスへの 感受性が高い可能性がある。
											口蹄疫	ProMED, 20040802-0010 (Xinhuanet com, 2004/07/30)	フィリピンの農場3ヶ所で口蹄疫が発生し た。
											インフルエンザ	ProMED, 20040821-0070 (Bloomberg.com 2004/08/20, Yahoo News 2004/08/20)	中国当局が初めてトリインフルエンザA 型(H5N1)をブタで発見した。それに対す るWHOとFAOからのコメント。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002~2003年の間にブタから採取され た血清検体1936件から、H9N2、H5N1型 鳥インフルエンザが確認された。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0080 (VOV news, Yahoo news, My way news)	ベトナム、マレーシア、タイ、中国におけ る鳥インフルエンザの対応について。
											インフルエンザ	ProMED, 20040824-0020 (PNAS 101(28) 10452- 10457, Channelnewsasia.com 2004/08/23)	中国の研究者が発表した論文に対し、 中国の農業省は、ブタで鳥インフルエン ザウイルスが確認されたとする報道を否 定した。
											インフルエンザ	ProMED, 20040825-0080 (Channelnewsasia 2004/08/24)	中国当局は、鳥インフルエンザウイルス の致死性株がブタで確認されているが、 流行とはなっていないと発言した。
											インフルエンザ	ProMED, 20040825-0010, (The Kansas City Star, China Daily)	農業省は110万個体の家禽及びブタに ついて、病原体及び血清検査を実施し た。トリインフルエンザウイルスに感染し たブタは確認されなかった。
											インフルエンザ	ProMED, 20040827-0020 (CIDRAP News, WHO)	H5N1型鳥インフルエンザのブタへの感 染は、中国語論文にのみ公表されてい た。ヒト及びトリインフルエンザウイルス の一部がブタに適応し、ブタ集団中で感 染が蔓延し始める可能性がある。
											インフルエンザ	Population and Public Health Branch, FluWhatch, weeks 33-34	中国で発表されたブタでのH5N1型感染 について概要。
											インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/08/23	中国で発表されたブタでのH5N1型感染 について概要。
インフルエンザ	SCIEH Weekly Report, 2004, 38(34), 2004/08/24	ベトナムのH5N1の流行に関する調査の 経過と、中国のH5N1型鳥インフルエンザ については詳細なデータが得られた時 点でWHO,FAO,OIEが評価する。WHOは 情報が少ないので評価が難しいため、 H5N1を経験した国にさらなる研究を求め ている。											

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	海外感染症情報, 2004, 8(34)	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
											インフルエンザ	Herald Tribune, 2004/08/21	中国で発表されたブタでのH5N2型感染に対するコメント。
											インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(1), 38-44	E型肝炎ウイルスはインドネシアの風土病であると信じられてきたが、バリでは蔓延しており、これがブタを介した人畜共通感染症であることを示唆。
											E型肝炎	Emerging Infectious Disease, 10(5), 953-955	流布しているE型肝炎ウイルスの類似領域と100%一致するウイルスが、英国のブタから検出。先進国におけるE型肝炎ウイルス感染が人畜共通感染症である可能性を示唆。
											コレラ	ProMED, 20040917-0010	西チモールでニワトリがニューカッスル病により、ブタが豚コレラの疑いで大量に死亡した。
											炭疽	ProMED, 20041010-0010	イタリアで炭疽菌が分離され、ブタ症例が確認された。
2004/12/02	40775	伊藤ライフサイエンス株式会社	日局トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	有り	無し	無し	口蹄疫	ProMED, 20040424-0020 (Xinhuanet news)	ザンビアで2004年2月に発生した口蹄疫の感染が広がっている。
											口蹄疫	ProMED, 20040713-0090 (Xinhuanet)	口蹄疫が疑われる流行がザンビアで発生し、1200頭が発病した。
											口蹄疫	ProMED, 20040903-0130 (Sapa-AFP via Mail&Guardian online)	ジンバブエで確認された口蹄疫流行は、全国各地に拡大して、家畜の8000頭が感染した。
											炭疽	ProMED, 20040428-0030	アルメニアで炭疽の流行が確認された。
											炭疽	ProMED, 20040511-0040 (Interfax)	グルジアで炭疽菌に汚染されたウシを食べた住民8名が罹患した。グルジアでは毎年家畜の炭疽感染が発生している。
											結核	ProMED, 20040525-0080 (South African Broadcasting Company)	EasternCapeで4カ所の牧場が隔離され300頭以上の結核に感染したウシを屠殺した。
											狂牛病	ProMED, 20040528-0120 (All Africa)	ケニアで狂牛病のイヌにおそわれ、住民8名と乳牛が死亡した。
											神経系障害	ProMED, 20040809-0080, (BBC News, Medical.net, Veterinary record)	英国で幼若なウシの麻痺や死亡の原因となる原因不明の脳障害の事例があった。非跳躍病ではない神経好性ウイルス感染症の特徴を有する化膿性壊死性灰白脳脊髄炎は、過去10年間に21例報告されている。エンテロウイルスが病因として可能性が高く、人の健康への驚異となる可能性は低い。
											口蹄疫、炭疽	ProMed, 20040812-0010 (新華社通信)	タンザニアのザンジバル諸島で口蹄疫と炭疽の流行が発生し、400頭以上が死亡。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											口蹄疫	ProMED, 20040818-0070 (ABC Adio Australia News)	カンボジアでウシ及びアジアスイギュウ2000頭以上が口蹄疫に感染した。
											狂犬病	ProMED, 20040821-0020 (Epidemiological Bulletin)	2004年はイヌの狂犬病が80例、ウシの狂犬病が2例報告された。
											炭疽	ProMED, 20040702-0070	ルーマニア東部で炭疽により男性2名が入院した。
											炭疽	ProMED, 20040703-0110, 20040710-0020, 20040710-0040, 20040715-0020	カザフスタン各地で起きた炭疽感染について。
											不明	ProMED, 20040709-0110 (All Africa)	ザンビアで約500頭のウシが原因不明の疾患で死亡した。
											結核	ProMED, 20040715-0030, 20040718-0050 (Gloucestershire the citizen, Farmers Weekly Interactive)	英国でのウシ型結核の流行について。
											口蹄疫	ProMED, 20040715-0100, 20040809-0060 (SABC news, OIE)	口蹄疫SAT2型が南アフリカで流行した。ウシ18,000頭が暴露され、2,500頭が発症した。
											炭疽	ProMED, 20040715-0040	イスラエルでウシ炭疽症例2例が確認された。
											炭疽	ProMED, 20040715-0130 (Australian Broadcasting Company, Phayul)	中国で男性1名がウシから炭疽に感染し死亡した。中国では毎年少数の炭疽症例が発生している。
											ブルセラ症	ProMED, 20040722-0040 (La Prensa)	パナマでウシブルセラ症が流行している。感染した60頭のうち27頭は処分された。
											炭疽	ProMED, 20040722-0150 (Xinhuanet, UB Post)	モンゴルでは2004年前半に20名が炭疽と診断された。
											狂犬病	ProMED, 20040722-0180, 20040803-0030 (The Messenger, OIE)	グルジアでウシの狂犬病が15例発生し、7名の狂犬病患者が発生した。
											ブルセラ症	ProMED, 20040726-0060 (AP電)	米国でウシのブルセラ症が発見されたため、牧草地の扱いに議論がなされている。
											炭疽	ProMED, 20040726-0100, 20040805-0020, 20040814-0050 (Interfax)	キルギスタンでウシ屠殺中に3名が炭疽菌に感染した。ウシは隣国のウズベキスタンから購入されたウシであった。キルギスタン南部では毎年複数の複数の患者が報告されている。
											炭疽	ProMED, 20040801-0030	アメリカの牧場で炭疽に感染したウシ8頭が死亡した。
											口蹄疫	Veterinary Journal, 168(1): 93-99	ボツワナでウシの口蹄疫が発生した。単離されたウイルスはSouthern African Territories type SAT-2だった。
											ブルセラ症	ProMED, 20040804-0080 (IRIN)	カザフスタンでブルセラ症患者数が増加しており、近隣国からの動物の密輸と関係している。
											炭疽	ProMED, 20040804-0100 (Avesta web site, Associated Press)	タジキスタンで汚染された牛肉を食べて7名が炭疽に罹患した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	ProMED, 20040813-0050 (Regions.Ru)	グルジアで炭疽患者4名が入院した。3名は屠殺に関わり、1名は汚染された牛肉を購入していた。
											炭疽	ProMED, 20040813-0080, 20040830-0040	炭疽感染によりウシ、クーズー、オジロジカが各1頭死亡した。
											結核	ProMED, 20040819-0050 (The NewZealand Herald)	ニュージーランド国内において2013年までにウシ結核を7群以下に減少させたいとする希望は、新たな流行により後退している。
											結核	ProMED, 20040828-0040, 20040830-0030 (AFP, Yahoo News)	ウシ結核症がモザンビークで流行している。健康被害やウシの死亡は報告されていない。
											炭疽	ProMED, 20040903-0120 (Mosnews)	ロシアで炭疽患者10名が報告された。
											リフトバレー熱	ProMED, 20040920-0040 (The Saudi Gazette)	サウジアラビアでリフトバレー熱によりウシ4頭が死亡した。
											炭疽	ProMED, 20040924-0080 (SIFY News)	西ベンガル地方で炭疽に感染した牛肉を摂取した住民13名が炭疽に罹患し
											炭疽	ProMED, 20041001-0010 (The Free Press of Nambia, All Africa)	ボツワナで起きた炭疽流行がナミビアに拡大し、家畜数十頭が死亡した。
											炭疽	ProMED, 20041001-0020	イタリアで炭疽事例が多発し、ウシ54頭、ウマ7頭、ヒツジ11頭、アシカ4頭の事例が確認された。獣医師2名が皮膚炭疽症を発症した。
											不明	ProMED, 20041004-0050 (Angoia Press)	アンゴラでウシが原因不明の疾患で死亡した。詳細不明。
2004/12/02	40776	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	Pallフィルター・シリーズ(Pall Co.)はPrPscを99%以上除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proceedings of National Academy of Sciences of the USA, 2004, 101(9); 3085-3070	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004, 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型のスクレイビーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来 成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,874人を対象とした虫垂及び扁桃標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイピー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine, 10(6), 591-593, 2004 June について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSepironによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD, BSEに対する使用が承認されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイピーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD, vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040815-0080, 2004/8/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/8/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014についてのコメント)。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうることを示唆される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMetic Life Sciences Inc. 2004/08/03	PRDT社は赤血球製剤のプリオン除去フィルターを2005年までに上市することを目標としている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 384, 529-531, 2004/08/27	スクレイピーを感染させたハムスターから採血し、プールした全血450mlから市販のフィルターを用いて白血球除去した。白血球数は2.9log低下し、TSE感染因子総量の42%除去した。白血球除去フィルターは白血球由来の感染を防ぐには十分ではない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 384, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス	aaBB the Executive Perspective, 2004.3	2003年7月からWNV-NAT検査を400万人の供血者に対して実施し、1000人のWNN陽性供血者を検出した。
											ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者880万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による8例のWNV感染が確認された。
											ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(8月1日~11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPIはメチレンブルーで処理されている。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(6), 886-890	FFPIにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
											インフルエンザ	The New England Journal of Medicine, 2004, 350(12), 1179-1188	ベトナムのトリインフルエンザ患者10症例の臨床所見等について。家禽類から感染したと考えられ、ヒト間の感染についての知見は得られていないが、可能性はある。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	WHO/GSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。
											リユーシュマニア症	Journal of Infectious Disease, 2004, 189(6), 1018-1023	リユーシュマニアに特異的なDNAが患者32人中30人の瘻痕で検出された。臨床的に治療しても、パラサイトが完全に除去されることはまれであることを示唆する。
											リユーシュマニア症	Transfusion of Medicine, 2004, 14(4), 319-321	リユーシュマニア症の流行国であるインドにおいて、2~3年間で6回の血小板輸血を受けた8歳の少年が、輸血によるリユーシュマニア感染症の疑いがあると診断された。
											HIV	Institute of Human Virology, 410-706-4816, 2004/8/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIVp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
											HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人献血者の血液は、HIV-NAT(HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
											HIV、C型肝炎	The New English Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medical Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O, 2004.8	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス6例、細菌81例であった。HBV感染例には、NATウインドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。
											C型肝炎	臨床血液, 2004, 45(8) 280	NAT導入後に、輸血用製剤によってC型肝炎に感染したと疑われる症例1例。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O, 2004.8	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相同性を示した。
											アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病)	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。
											野兎病	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 483-486	プレーリードッグからヒトへ野兎病が感染することについて、初めて科学的根拠が示された。
											レプトスピラ症	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 408-412	カリフォルニア州で汚染された水に接した健康人に発症したレプトスピラ症(5症例)についての考察。
											ウイルス感染	Virus Research, 2004, 100(2), 223-228	日本の小児における調査で、SENV-D,SENV-Hとも急性あるいは慢性肝炎には関与しなかったが、SENV-Dは劇症肝炎の危険因子になり得ることが示唆された。
											発疹熱	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(5), 964-965	日本で発疹熱が血清学的診断により確定された。近年のクロネズミの増加から本症例が再興している可能性がある。
											ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, 2004.4	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
											ウイルス感染	Department for Environment Food and Runal Affairs News, 2004/8/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。
											狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。
											クラミア症	Transfusion, 2004, 44(7), 1072-1078	調査施設で募った健康人70名における末梢血単核球について、拡散検査および免疫染色で検査したところ13名で肺クラミア抗原陽性反応を確認した。
											ウイルス感染	Blood, 2004, 105(5), 1534-1541	合成ソラレン誘導体アモトサレンを用いて光化学処理された血小板製剤の臨床試験の結果、処理群は未処理群に比べ出血傾向の是正には有意差が認められなかったが、血小板増加数低下、血小板間隔短縮及び血小板輸血回数増加が認められた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間でチャンディ ブラウイルスの急性脳炎の大流行が報 告された。329例中183例が死亡し、塩基 配列は1965年の株と96.7~97.5%の高い 相同性を示した。
2004/12/02	40777	興和株式会社	ウロキナーゼ	精製ゼラチン	ウシの骨、ブ タの皮	ウシの骨(イン ド)、ブタの 皮(日本)	添加物	無し	無し	無し			
2004/12/02	40778	興和株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/08	40779	エーザイ株式会 社	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼ モノクローナル抗 体	マウス腹水	日本	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも 20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱 し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, ETVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死 亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口 蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリ ア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様 疾患が流行している。
2004/12/08	40780	エーザイ株式会 社	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	米国、オーストラ リア、ニュージーラ ンド、コスタリカ、ニカ ラグア、エルサルバ ドル、パナマ	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも 20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱 し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, ETVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死 亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口 蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリ ア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様 疾患が流行している。
											神経系障害	ProMED, 20040610-0010, 20040612-0060 (BBC News, Veterinary laboratories Agency, Veterinary Record)	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌ ス中毒と疑われる症例を認めていたが、 ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾 患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学 研究所は考えている。
2004/12/08	40781	エーザイ株式会 社	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	ニュージーラ ンド	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも 20名の小児が死亡した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paulo, EVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
											神経系障害	ProMED, 20040610-0010, 20040612-0080 (BBC News, Veterinary laboratories Agency, Veterinary Record)	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/06	40782	エーザイ株式会社	モンテプラゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ペビーハムスターの腎臓	10数年前に樹立したマスターセルバンクに使用した細胞株のため原産国不明	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paulo, EVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
2004/12/06	40783	エーザイ株式会社	モンテプラゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清	日本	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paulo, EVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマリア様疾患で30名が死亡した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
2004/12/06	40784	エーザイ株式会社	モンテプララーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	米国	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040809-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040823-0030, 20040824-0020 (Diario de Sao Paolo, ETVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
											神経系障害	ProMED, 20040810-0010, 20040812-0060 (BBC News, Veterinary laboratories Agency, Veterinary Record)	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	SCIEH Weekly Report, 2004, 38(35), 2004/08/31	ブタが遺伝子再集合の場となっている可能性はあるが、まだよくわかっていない。WHOはH5N1および他のインフルエンザウイルスについて研究を奨励している。
2004/12/06	40785	エーザイ株式会社	ヘパカリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタの腸粘膜	米国、カナダ	有効成分	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040809-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040823-0030, 20040824-0020 (Diario de Sao Paolo, ETVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											神経系障害	ProMED, 20040810-0010, 20040812-0080 (BBC News, Veterinary laboratories Agency, Veterinary Record)	イギリス及びウェールズで牛のポツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ポツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
											インフルエンザ	SCIEH Weekly Report, 2004, 38(35), 2004/08/31	ブタが遺伝子再集合の場となっている可能性はあるが、まだよくわかっていない。WHOはH5N1および他のインフルエンザウイルスについて研究を奨励している。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
2004/12/10	40786	日本シェーリング株式会社	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス感染	ProMED, 20040520-0080 (Pork Magazine, 2004/05/18)	若いブタはウエストナイルウイルスへの感受性が高い可能性がある。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002~2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。
											大腸菌性胃腸炎	ProMED, 20040914-2564 (Orangeville the Banner)	ブタロースト大会の参加者でO157に感染した患者がいるが、感染源は調査では特定されていない。
2004/12/14	40787	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004, 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regard技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型のスクレイビーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,674人を対象とした虫垂及び肩頭標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイビー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine, 10(6), 591-593, 2004 June について)